

平成27年度農高・農大就農促進対策事業

事業主体名 国分中央高等学校

1 目的

農業に対する興味・関心を高めるとともに、農業の持つ可能性や必要性、環境保全に対する意識を高め、総合的な視野に立ち農業全般を広い視野で展開できる能力や態度を育成する。

2 実施状況

(1) 農業体験講話

12月11日(金)本校にて、(有)竹ノ内観光農園 専務取締役 竹ノ内義人氏に講師を依頼し、「農業について」というテーマで、園芸工学科の全生徒を対象に講話をしていただいた。同学科の先輩であることから、生徒らは熱心に聞き、多くの質問があり、農業に対して興味・関心を深め、進路の参考になった。特に観光農園というユニークな取組は、生産現場とお店が一体化し、かつ生産者とお客様が直接顔を合わせられる良否について、どの分野でも参考になる内容であった。



(2) 営農の門出を励ます会

営農の門出を励ます会を2月2日(火)に本校で行った。参加者は営農予定者7人と始良・伊佐地域振興局農林水産部農政普及課長を始め、霧島市長、農業関係機関、園芸工学科全員の計約140人であった。農業関係機関の課長と霧島市長による励ましの言葉や営農予定者が抱負を述べて決意を表した。また、営農予定者に記念樹を授与し、最後は全員で乾杯(霧島茶)をして営農予定者を送り出した。



3 今後の課題と取組

入学者の殆どが非農家の生徒になり、女子の割合も増えてきた。農業に興味関心を持つ生徒は少なくないが、職業としての農業や農業生産法人への就職まで考える生徒は極めて少ない。生徒の視察研修や講話を本事業の中心的活動に据えてきたが、どちらかといえば受身の活動であった。例えば、出前授業のような校外活動、栽培試験のような実験的要素を取り入れた内容にも取り組み、農業関係職種への従事者を増やしていく工夫が必要である。